

今月は『てんか』というあそびです。

小学生の時に体育で、クラス全員でよくやっていたあそびです。ルールはドッチボールとよく似ていますが、コートは無く大体の範囲を決め、ボールを持った人は「て・ん・か」と言いながら3歩だけ動くことができます。ボールを当てられるとアウトなので、最後に当てられずに残った一人が「てんか」を取って勝ちという事になります。

中学生になってからも、休日の部活前には同じ部活の友だちと1時間前に集まり、校庭で準備運動も兼ねて全力で遊んだあと、みんなで部活に行っていました。大人になってから一緒に部活をしていた友だちと会うと「あの頃は体力が永遠にあったよなあ」と、話しながら懐かしい気持ちになります。

西岡 芽依

園公開

各クラス普段通りの姿を見ていただけたことを嬉しく思います。お家の人に手を振ったり、かっこいい姿を見せようとしたり、嬉しそうなこどもたちでした。ありがとうございました。



…バナナ生長日記…

いよいよ最終回となりましたが、バナナは越冬中です。毎日のように2～3人のこどもたちがバナナの周りにやってきては雑談をしています。



「また、たべれるかな」「バナナおいしかったよな！」そして、両手でさりげなくモミ殻をバナナを覆うようにかけているのです。その様子がなんともほほえましいのです。そんな姿を見ていると、今年の秋に実ることを願わずにはいられません。



3月



3(金) 誕生会

8(水) 卒園旅行(5歳児)

10(金) 健脚活動⑤

13(月) 避難訓練

16(木) お別れ会

20(月) 卒園式(5歳児)

修了式(1号認定児)

22(水)～31(金) 春休み(1号認定児)

29(水)～31(金) 自由登園

4月

3(月) 進級会

5(金) 入園式

21(金) 誕生会

25(火) 避難訓練



新年度の部屋の準備を行いますので、2号・3号の方でご都合のつかれる方は家庭保育のご協力をお願いします。

いちょうの森だより



いちょうの森こども園 園だより No.72



いちょうの森こども園 HP には、QR コードまたは下記の HP アドレスよりアクセスできます。

<https://ichounomori.okayamakodomokyoukai.jp/>

令和5年3月1日 発行

いちょうの森こども園 園だより

桜が丘東3-3-496

TEL 086 (956) 2022

FAX 086 (956) 2023

事業計画「おおきくなりたい」II

～こどももおとなも共に安心できつながらる場所～に寄せて

桜の開花が待ち遠しい季節となりました。近隣の公園や園庭の草木が、春の暖かな日差しを受けて少しずつ蕾を膨らんで来ています。コロナ禍の生活3年目を間もなく終えようとしています。一年を振り返ると園での行事や活動には制限があり、延期や縮小を余儀なくされましたが、状況を見て少しずつ緩和することもできました。

今年度は給食室から各クラスでのクッキングの依頼を受けて、昼食で使用する食材を手にして触れたり香りを味わったりする機会がありました。給食室の今年度のテーマの1つでもある「煮干しや昆布、鰹節でだしを取る」という活動をクラスが担当しました。鍋から上がってくる湯気と共にホール中にだしの香りが広がり、こども達の表情がほころんでいました。だしの香りに誘われて食欲がそそられます。給食室にはこども達からよく見えるように、感染予防のためナイロン袋に入ったこんぶや煮干しが掲示して 있었습니다。調理員からこども達への思いがしっかりと伝達されていきます。法人が大切にしてきたものをしっかりと受け継いで次の世代へ引き継いでいきたいと思っています。

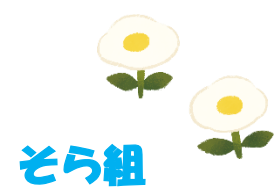
もうすぐ卒園していくそら組のこども達。進級を待ちわびているこども達の気持ちをしっかりと受け止めて、新たな一歩が踏み出せるように3月もできることを見つけて過ごしたいと思っています。

今年度もコロナ禍、園での生活で保護者の方にもご理解とご協力をいただきありがとうございました。今年度もあと1か月となりました。今できることを再確認しながら生活したいと思います。

園長 高原 泉



硬いシイタケがだんだんと柔らかくなっていい香りがしてきたね。



こんなことが できるようになりました



卒園製作で、園庭の平台の枠を作り変えました。初めてノコギリを使う子も多く、慎重に板を切りました。「みんながつかうからだいじにきらんとな」と気持ちもたくさんもっています。友だちが切っていると誰かが「おさえておこうか？」と気にかけて助け合う姿に、春からの成長を感じました。

卒園が間近になりました。それぞれ違う学校に行っても、ここで過ごした仲間との思い出ををいつまでも覚えていたらいいな、と思います。



にじ組

つき組に向けての取り組みで靴下を二つ重ねてくるりとし、一つにしてから入れるという事がだんだんとできてきています。最初は手の動かし方が分からず、「できん」「やって」と保育者の所に持ってくる子が多かったのですが、他の友だちができている姿をみて、やってみようとしていました。友だち同士刺激し合って、できることが増えることに成長を感じました。



ほし組

自分のことは自分ですることが身につき、給食の準備や布団敷きなど自分たちでしています。ある日の給食の準備では、普段大人がしている所をよく見ていたようで、準備が間に合っていないと「仕切りがない!」と気づき、「どこあるん?もっていこうか?」と自分たちで準備が始まりました。自然と自分たちで準備しようとするこどもたちに成長を感じました。



ゆき組

身の回りのことを“自分でやってみたい”と感じ、しようとしています。靴下を履く時のことです。初めは「できん」「して」と言っていた子が、つま先に靴下をかけられるようになり今度は、かかとまで履いて、遂に一人で向きを確認して履くことができるようになりました。日々の積み重ねの大切さ、こどもたちの成長を感じた出来事です。



つき組

手押し車をしています。身体も大きくなってきて筋力もかなりついてきたつき組。自分の身体を支える力が身についてきています。途中バランスを崩して倒れる子もいましたが、また同じ場所から再挑戦してゴールまで行くことができました。支える側もバランスを保つために細かい調整と息を合わせることを意識して楽しく取り組むことができました。



はな組

食事の時に、スプーンで食べることに慣れ始めています。最初は手づかみ食べだったり、スプーンを保育者が介助をしたりしていたことも、月齢が大きくなるにつれて一人で持って食べれるようになり、目に見えて成長を感じます。できた時には共に喜び合い、こどもたちにとっても自信になっているといいなと思います。

